[日野] エンジン DPR 強制再生(特殊機能選択時の場合)

## 概要

DPR 強制再生は以下の場合に行います。

- DPR フィルタに一定量の PM が堆積して、PM を燃焼する必要がある場合
- DPR フィルタ等の状態を確認する場合

## 手順/操作

- 「特殊機能」より DPR 強制再生を行う際は、DPR 関連の故障コ ド読取・消去 関連デ – タ – 表示、DPR データリセットを自動的にスキャンツ – ルが行います。
- 注意: よって、自動処理の出来ない故障コードやデータリセットが検出された場合、 DPR 強制再生モードが中断され強制再生が出来ません。 その際は通常メニューの「診断」・「車両選択」・「エンジン」・「故障コード読取」 「作業サポート」より手動にて作業を行って下さい。
  - シフトレバーを P レンジ(AT 車)またはニュートラル(MT 車または、P レンジのない AT 車) の位置にし、パーキングブレーキをかけます。
- エンジンをアイドリング状態にし、アイドリングコントロールノブによって
   エンジン回転数を上げている場合は、左いっぱいに戻してエンジン回転数を下げて下さい。
  - アイドリングストップ装着車は、アイドリングストップスイッチを「OFF(解除)」にします。
  - PTO 装着車は、PTO 作動を停止させます。

1.	イグニションスイッチを OFF 位置にした後、 ダイアグコネクターに TPM-5 を接続します。 本体の電源が入らない場合、シガーライター ケーブルを接続します。 その後、イグニッションスイッチを ON にします。	
2.	『TPM-5 メニュ-』画面から 〔特殊機能〕 を選択して[ENTER]を 押します。	Batt: 13.30 V TPM-5 メニュー シー シー シー シー レー の アク アク アク アク アク アク アク の の の の の の の の の の の の の



消去のできない故障コードが検出されると、特殊機能が中断されます。

その後、通常メニューの診断よりお進み頂き故障探求が必要となります。

	『DPD メニュー』画面から	Batt: 13.27 V DPD メニュー DPD 関連データモニタ DPD 点検モード
5.	〔DPD 点検モード〕を選択して	
	[ENTER] を押します。	
		 ENTER:選択 EXIT:戻る
	『DPR 点検の作業内容』画面が表示されます。	Batt: 13.33 V DPR点検の作業内容
6.	内容を確認して [ENTER] を押します。	<ol> <li>         故障コード満去     </li> <li>         故障コード読取     </li> <li>         DPR関連データの表示     </li> <li>         DPRデータリセット     </li> <li>         DPR強制再生     </li> </ol>
		6. 強制再生後のDPR関連データ表示
		ENTER:次へ EXIT:中止
	『DPR 点検モ – ド』画面が表示されます。	Ball: 13.33 V DPR点検モード
7.	内容を確認して [ENTER] を押します。	DPR点検モードを開始します。
		ENTER:実行 EXIT:中止
		Bett: 13.32 V 故障コードの消去 <sup>故障コードを</sup> 消去しました。
		エンジン始動時に故障コードが発生しないかチェック をします。スターターキーをLOCKにして、[次へ]進ん でください。
	『故障コードの消去』画面が表示されます。	
8.	内容を確認して [ENTER] を押します。	ENTER:次へ
		<sup>Batt: 13.34</sup> Ⅴ 故障コードの消去
		スターターキーをON(エンジン停止)にして、 [次へ]進んでください。
		ENTER : 次へ

9.	表示内容を確認し[次へ]を押します。	DPR状態表示           差圧検出DPR溶損         0K           温度判定DPR溶損         0K           DPR異常加熱         0K           差圧判定目詰り         0K           目詰り危険い <sup>*</sup> ル         0K           触媒劣化         0K           勉強劣化         0K           勉強劣化         0K           勉強な少化         0K           勉強な少化         0K           勉強劣化         0K           勉強な少化         0K           勉強な少化         0K           勉強な少化         0K           勉強な少化         0K           動数         0K           自詰り含した良い <sup>*</sup> ル         0K           自詰りきたい <sup>*</sup> ル         0K           自詰りき告い <sup>*</sup> ル         0K           自詰りき告い <sup>*</sup> ル         0K           自詰りき告い <sup>*</sup> ル         0K           自詰りき告い <sup>*</sup> ル         0K           触媒劣化         0K           触媒劣化         0K           触媒劣化         0K           ●         0K           ●         0K           ●         0K           ●         ●           ●         ●           ●         ●           ●         ●
10.	『DPR 状態リセット』画面が表示されます。 内容を確認して [ENTER] を押します。	Batt: 13.28 V DPR状態リセット DPR関連データをリセットします。 DPR点検および洗浄後に実施してください。 リセットを実行しますか? ENTER: はい EXIT: いいえ
11.	表示される指示通りに操作を行い [ENTER]を押します。	Batt: 13.29 V DPR状態リセット 「確認!」 エンジン停止、 ギア位置がニュートラル、 スターターキーON。 ENTER:次へ
12.	表示される指示通りに操作を行い [ENTER]を押します。 また、表示内容を確認し[ENTER]を 押します。	Batt: 13.29 V DPR状態リセットが完了しました。 スターターキーをLOCKにしてから[次へ]を入力してくださ い。 10秒間放置で登録が完了します。 ENTER:次へ EXIT:中止





## 以下の場合はエンジンオイルを交換して下さい。

## 注意: ・エンジンオイル量を点検し、エンジンオイルの量が多い場合。

	Batt: 13.34 V
	山口の一部では「「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「
T=_	
	エンジンの過去故障コードがあります。エンジン本体の 点検は完了していますか。
通信に失敗すると、右の画面が表示されます。	
整備書で条件などを確認して、	ENTER : はい EXIT : いいえ
もう一度行って下さい。	Batt: 13.27V 故障コードの読取
	<b>加陸コードを検知しました</b>
	故障コードを次の画面で
	確認して下さい。
	車両の修理を行った後、
	もう一度行って下さい。
	ENTER/EXIT:続行
	Batt: 13.34∨ 故障コードの読取
	P204F 尿素SCRシステムの故障 FF
	ENTER:詳細 EXIT:戻る
	Batt: 13.33 V
	ש וט
	** プロセス終了!! **
	FXIT· 終了
	L/11 . 小之 J